

水を

汚さないで

広報でも何回となく取り上げてきたことですが、私たちの暮らしと切り離すことができない水の汚濁が深刻化してきています。

その汚濁の原因は生活雑排水によるものが大きなウエートを占めています。少しでもみんなが注意すればその分汚濁が減るのです。でも、皆さんが注意するだけでは防げないようになってきていることから、原則的にし尿だけを処理する単独浄化槽の設置を認めないことにしました。これで、将来的には家庭から出されるすべての水は浄化されるようになります。

家庭での

焼却の自粛を

各家庭の簡易焼却炉でビニールなどを燃やすと、身体に有害な物質とされるダイオキシンが、大きな焼却場で処理される場合よりも多量に発生します。

そのため、今回の条例では、ビニール、ゴムなど、著しくばい煙や悪臭を発生する物質を家庭で燃やすことを禁止しました。また、簡易焼却炉による燃焼行為そのものについても自粛を求めています。

地球環境の保全に協力を

地球環境の保全という点、何か私たちには関係のない、大きなことのように思われがちですが、本当は一人ひとりが注意すれば達成できる、身近なことなのです。

地球環境問題の中で最も深刻な問題は「地球温暖化」です。これは、私たちが日常生活を通じて排出する二酸化炭素などの温室効果ガスが原因です。温暖化が進むと生態系の変化、豪雨や干ばつの増加、海面上昇による土地侵食などが起こります。それらは、人類の文明の基盤そのものを壊しかねま

せん。

国や地方公共団体などでの取り組みは当然のことですが、各個人においても、できることがたくさんあります。

そのため、今回の条例では、個人が取り組みやすいこととして、省エネルギーや車からの排出ガス抑制のため、暖機運転、アイドリング(エンジンのかけっぱなし)の自粛などについて取り上げました。これらは日常生活で簡単にできることであると同時に、地球にもやさしいことなのです。

私たちの街 おおだてを 今よりも 住みやすく そして 素敵にするために

- ・ 空き缶や空きびんは、家庭に持ち帰るか、回収容器に入れましょう。
- ・ タバコの吸い殻は、灰皿に入れるか、携帯灰皿で持ち帰りましょう。
- ・ ガムのかみかすは、紙に包んでごみ箱に捨てましょう。
- ・ 犬(ペット)のふんは飼い主がきちんと始末しましょう。
- ・ 家庭の簡易焼却炉を使つての燃焼を自粛しましょう。
- ・ 温暖化防止のため、暖機運転やアイドリングを自粛しましょう。

地球温暖化

地球は太陽からの熱を吸収する一方で、一部の熱は宇宙に逃がしています。このバランスを保ち、生命が生きるために適した気温を維持しているのが、地球を覆っている大気です。

もし大気がなければ、太陽が沈んだとたん温度が氷点下になって下がってしまいます。

しかし、大気中の二酸化炭素などには地表からの熱を吸収・反射する性質があるため、太陽の光がとぎれても気温が極端に下がることはありません。大気が一枚の毛布のように地球を包み、適温を保っているのです。

ところが、私たちがエネルギーを得るために石油や石炭を大量に燃やしはじめると、二酸化炭素は徐々に増え、今では自然のバランスを崩すまでになってしまいました。

二酸化炭素などの濃度が高まれば、それだけ大気に熱が蓄えられて気温が上がります。つまり、地球は、もう一枚の余計な毛布に包まれた状態になるので、これが地球の温暖化です。